

ログアウト

文字サイズ 小 中 大



# 藤原 滋樹 さん

トップページ	メッセージ	履修・成績情報	シラバス	指導学生	各種設定
お知らせ	授業情報	年間行事予定	落とし物	就職情報	アンケート回答
アンケート作成・結果	ログイン履歴				

アンケート名	『海洋生命・分子工学英語ゼミナール』（藤原担当分のみ）最終週アンケート
実施期間	2015/01/29～2015/02/05
時間割番号	76350
科目名	海洋生命・分子工学英語ゼミナール
担当教員	湯浅 創
受講者数	21

Q1 この授業で教員は、受講生の学問的関心や知的好奇心を高めるように授業を進めていると思いますか **【必須入力】**

	回答数	回答率	
はい	13	76.47%	<div style="width: 76.47%; height: 15px; background-color: red;"></div>
どちらかと言うと「はい」	4	23.53%	<div style="width: 23.53%; height: 15px; background-color: red;"></div>
どちらとも言えない	0	0.00%	
どちらかと言うと「いいえ」	0	0.00%	
いいえ	0	0.00%	

Q2 問1の回答の理由

回答
解説が分かりやすい。 しかし、生徒の自主性を優先しているため、率先して意見を発表する生徒とそうでない生徒で授業の効果に差が出る。
毎回課題を与えることで、復習や予習ができ進んで授業に向き合えることができたため。
復習プリントなど授業内容が理解できているかどうかを確認れる手段があるため。ただ、英語を訳していくだけの授業ではなく論文の内容を理解するための授業であると実感できるものであったため。

図などを使い英語についての学習の話だけではなく論文の内容（生物分野の話）が多分におりこまれていたため。

コースに関連のある論文であったため、興味をもって予習を進められたから。

専門用語など普通に調べてもわからないものが多くて、より詳しく調べていく必要があった。でも、難しかったため身に入りにくく感じた。

課題を用いることで授業内容の理解を助けている。

1

Q3 この授業で教員は、受講生の知識・能力や興味・関心を確認しながら授業を行っていると思いますか【必須入力】

	回答数	回答率	
はい	14	82.35%	
どちらかと言うと「はい」	3	17.65%	
どちらとも言えない	0	0.00%	
どちらかと言うと「いいえ」	0	0.00%	
いいえ	0	0.00%	

Q4 問3の回答の理由

回答
論文の内容で専門的な内容を細かく解説し、生徒の理解に努めているから。 また、毎回の講義レポートで知識の定着の度合いを確認しているから。  できれば、レポートの振り返りを全体でも簡単に行っていたら嬉しい。
ただ訳して合っているか確認するだけではなく、生徒に質問を問いかけたり、関連することや他の授業において習ったことを反復して説明したりしたので、知識を思い出すことができ授業をしっかりと受けることができた。
毎回出される課題で自分の理解度と内容を確認しながら学習を進めることができたから。 またその課題の先生の採点が非常に痛いところをついてくださり授業で解説をしてくださったので 理解を深めることができた。
毎回出題されるレポートの内容が授業の進み具合に沿っており、学生の講義内での話し合いなどを確認しながら授業が進められている印象を受けた。
毎回の課題のボリュームや、内容の濃さなど。 当たり前なのかもしれませんが、学生のために割く時間が多く、質問しやすかった。また、先生がここまで重きを置いているのなら私たち学生も頑張らねば！と鼓舞されました。
生徒が意見を言いやすいような雰囲気を作っている。
双方向の授業であり、積極性が求められたから。
毎回のプリントで間違えているところにコメントやヒントが書かれていた。
毎時間課題を提出することにより個人個人の理解度の確認をしている

Q5 この授業で教員は、受講生に分かりやすい授業をするように努めていると思いますか **【必須入力】**

	回答数	回答率	
はい	12	70.59%	
どちらかと言うと「はい」	4	23.53%	
どちらとも言えない	1	5.88%	
どちらかと言うと「いいえ」	0	0.00%	
いいえ	0	0.00%	

Q6 問5の回答の理由

回答
自分の努力不足ではありますが新しく出てきたワードが早く連続で出てくるときに頭がついていかなかったから。 ですが基本的に前回の復習などをさらっとしてからスタートしてくださったので分かりやすかったです。
分からなかったところなどは質問に行けば理解できるよう解説してくださったから。
授業内に出た疑問点を軽く触れるだけに留めず、突発的に出た質問でも時間をかけて解説していた印象がある。 どちらかと言うとわかりやすい授業をするのではなく、わかるまで授業をする印象を持った。
論文の接し方、読み方などわかりやすく教えてくれました。
質問者が納得するまで、丁寧に解説をしてくれる。
随時説明も入れてくれたから。
進むスピードが自分的に早く、そのまま内容を飛ばした部分もあった。

Q7 この授業で教員は、受講生が質問や意見を述べる機会をつくり、それらに答えていましたか？ **【必須入力】**

	回答数	回答率	
はい	14	82.35%	
どちらかと言うと「はい」	3	17.65%	
どちらとも言えない	0	0.00%	
どちらかと言うと「いいえ」	0	0.00%	
いいえ	0	0.00%	

Q8 問 7 の回答の理由

回答
間違っただけをいっても少しかぶっているところから助け舟を出してくださり 答えまで自分で考えて導けるようにして下さったので質問等々やりがいがあった。
適宜教員が質問があるかを聞き、また受講生もいつでも質問をしやすくなっていました。
先生のスケジュールをほぼ毎週教えてくれてて、アポを取りやすかったです。
1

Q9 この授業で教員は、受講生の意欲的・自主的な学びを引き出すための工夫をしていますか **【必須入力】**

	回答数	回答率	
はい	12	70.59%	
どちらかと言うと「はい」	4	23.53%	
どちらとも言えない	1	5.88%	
どちらかと言うと「いいえ」	0	0.00%	
いいえ	0	0.00%	

Q10 問 9 の回答の理由

回答
あまり積極的に発現しない生徒に対する工夫が必要。
自主的に勉強しないについていけない環境をつくって下さったのでそうおもいます
授業後の復習プリントなど。
毎回出題されるレポートや授業で疑問に思ったこと、また、わからないことがあればいつでも 質問しに来るように言っていた。
プリント（詳しく調べたり、読まないで埋まらない）
積極的に質問をするように促している。
1

Q11 この授業で、毎回課される宿題は、論文の読み方を学ぶために効果がありましたか **【必須入力】**

	回答数	回答率	
はい	12	70.59%	
どちらかと言うと「はい」	3	17.65%	
どちらとも言えない	2	11.76%	

どちらかと言うと「いいえ」	0	0.00%
いいえ	0	0.00%

Q12 問 11 の回答の理由

回答
専門用語の訳し方や、言い回しについて知れた。
初めての英語の専門的な論文だったのですが宿題があることで理解を少しずつ深めていけることができた
論文の内容が分かっていないと解けない問題であったから。
通常の英訳では使われないような（生物学の）英語論文独特の表現の仕方についての問題などもあり、それについて学ぶことができた。
課題にとりかかればとりかかるほど、内容を理解できるようになった。 逆に、理解してないと解けない問題もあって、やりごたえがあった。
ただ、論文を和訳するのではなく内容を理解できるよう、設問を設けることで手助けになっていた。
論文の内容の問題であり、論文の読み方とは関係ないかもしれないと少し感じた。
内容を訳す予習で手一杯。
1

Q13 この授業で毎回課される宿題は、英語を学ぶために効果がありましたか **【必須入力】**

	回答数	回答率	
はい	9	52.94%	
どちらかと言うと「はい」	7	41.18%	
どちらとも言えない	1	5.88%	
どちらかと言うと「いいえ」	0	0.00%	
いいえ	0	0.00%	

Q14 問 13 の回答の理由

回答
英語を学んだその先の内容についての効果がありました。 そこに至るまでの過程で英語を学べました
課題だけでなく授業にも言えることだが、課題に取り組む前にくらべ取り組んだ後のほうが英語論文を読みやすくなったと感じるため効果があったのだろうと考えている。
生化学的な特殊な用語が多く、英語そのものを学ぶのには…。
1

Q15 この授業で教員は、授業をより良くするための試みをしていると思いますか **【必須入力】**

	回答数	回答率	
はい	10	58.82%	
どちらかと言うと「はい」	7	41.18%	
どちらとも言えない	0	0.00%	
どちらかと言うと「いいえ」	0	0.00%	
いいえ	0	0.00%	

Q16 問15 の回答の理由

回答
先生はいつも私たちの理解度と向き合っどうしたらより分かりやすいかなど学生の意見を聞いて実行してくださったから。
細かい質問のアンケートを実施し、教員もアンケートを行うように促していた。
双方向の授業をしようという姿勢がすごく感じられたから。
各々のプリントへの細かいコメント。
1

Q17 この授業に満足しましたか **【必須入力】**

	回答数	回答率	
はい	11	64.71%	
どちらかと言うと「はい」	4	23.53%	
どちらとも言えない	1	5.88%	
どちらかと言うと「いいえ」	1	5.88%	
いいえ	0	0.00%	

Q18 問 17 の回答の理由 **【必須入力】**

回答
英語の論文をいままで読んだことがありませんでしたが、この授業を通じて、論文の読み方を学ぶことができたので、その後の他の先生の授業もうけやすかったです。課題があることで、ただ英語を読むだけでなく、論文を理解することも必要となり、勉強になりました。
論文に触れるのが初めてだったので、丁寧でゆっくりな解説は嬉しかった。
毎回授業でやる範囲の課題が出ていたので予習もでき、また復習もかねていたの自主的に勉強しようという意欲が湧いてきました。 英語の論文を読む機会を今までとることがあまりなかったのでこれから今回の英語ゼミをきっかけに英語の論文を読もうと思います。

英語の論文を読むことに対して抵抗が少なくなったから
質問に行けば解説してくださるから。 授業内容の確認、復習のためのプリントが毎回提出されていたから。
非常に丁寧に英語の論文の読み方を学び、非常にためになったと感じている。
春からは当たり前になる論文を読むということが、まだこの時期には機会がなかったけれど、授業を通じて論文の読み方がわかり、今ではいろんな論文を読むのが楽しくなっているから。
自分で復習するじかんをあまり取れなかったため、内容理解に欠けていた。
論文購読はしたことがなかったので、解読の仕方など知ることができた。 また、課題プリントがあることで自分の理解度も確かめられた。
英語の論文に触れることは初めてだったため、読み方やポイントなどを詳しく教えてもらえたため
もともと英語は好きだから。論文の構成は理解できた。
難しく、予習で手一杯、授業で自分の間違えたところのチェックで結構忙しかった。
英語の論文の構成や読み方を学べたため。
授業で扱った範囲内ではあるものの、論文の読み方を理解できたから。
論文の基本構成や読み方を学ぶことが出来たため。
質問の機会を設け、積極的に疑問解決に取り組むことができた。さらに論文を読むことに対しての姿勢を学べた。
英語の論文に触れる初めての機会であり、論文ならではの表現の仕方などを知ることができた。
1

Q19 この授業をよりよいものにするためには、どのような工夫をしたらよいと思いますか **【必須入力】**

回答
特にありません
レポート課題の簡単な振り返り 論文の内容以外の雑学（湯浅先生のような）
授業中に発表する人が限られてくるのももう少し、平等にあたるようになればいいなと思いました。
似たような専門用語についてはいったん課題でその意味等をまとめ毎回の授業で持っているともっと理解が深まるかと思いました。
今のままで私は充分だと思います！
身の回りにある英語の文と比べ難易度が高い英語論文を丁寧に読み下すことにより英語論文の読み方を学べる。 だがしかし、英語に対する苦手意識が解消されるわけではないため、もう少し読みやすい論文をもちいて英語、とりわけ英語論文に対する苦手意識を解消させるように促すことで、受講者が気軽に英語論文を読めるようになるのではないかと考えた。
温度差がどうしても生まれがちなので、みんながちゃんと向き合えるように生徒間でも教えあふことになればいいのではないかと考えました。工夫はなさらないですけど

つよつよになれはいいのにと思いました。上手にならないでっけと。。。

今の授業形態で言いとおもう。

今回のように、毎週の課題や挙手制にして授業を進めていくと生徒が積極性が高まると思うので続けたほうがよい。

特にありません。

もう少し論文独自の構成や表現が知りたかったです。

一通りランダムで当てるのは良かったと思う（手が抜けなから）。もう少し読みやすいと、やりやすかったとは思ふ。

読み進めるにつれて内容が難しくなるため、内容の整理をしていくことが大切だと思ひました。

思ひ至らない。

特にありません。

特になし、このままでも良い講義だと思ふ

論文の内容よりも論文の読み方に焦点をあて、論文ならではの考え方や表現、展開の仕方などを多く教えてもらうことで、今後論文を読んでいくときに授業で習った知識を活かしやすくなるのではないかと思ひました。